

平成 22 年度 教育課程編成にあたって

中 音楽

1 平成 22 年度に求められる取組

(1) 年間指導計画の作成

- ① 各領域（A表現，B鑑賞）の指導事項と〔共通事項〕との関連を図り，年間をとおして継続的に〔共通事項〕で示している内容を取り扱うように工夫し，適切に指導計画に位置付ける。
- ② 各学年の歌唱共通教材の確認や，新学習指導要領全面実施に向け，歌唱教材選択の観点について，新たに示された「我が国の伝統的な歌唱」の確認を行う。

(2) 題材や教材の開発

- ① 教科の目標を踏まえ，学年の目標と内容に示している事項を十分に検討して題材を設定する。
- ② 我が国や郷土の伝統音楽の指導においては，特徴を感じ取ったり，よさを味わったりすることのできる教材や楽器を学校や生徒の実態に応じて選択する。

(3) 配慮すべきこと

〔共通事項〕の指導に当たっては，表現及び鑑賞の各活動の中で指導し，〔共通事項〕のみを扱う学習にならないように配慮する。

2 教育課程編成上，参考となる取組例

(1) 学年ごとに内容の扱いをマトリックス表で示す指導計画の作成

第 1 学年及び第 2・3 学年をまとめた指導計画を作成し，題材の配列と教材，学習指導要領の領域別の内容，〔共通事項〕との関連を示すことにより，領域のバランスや指導の系統性について配慮したものができる。また，各題材における学習指導要領との関連について，重点的に取り扱う事項と関連的に取り扱う事項を「◎」や「○」などで示すことにより，指導内容を明確にすることができる。

(2) 創意工夫して表現したり，幅広く主体的に鑑賞したりする力の育成を重視した学習活動

音楽を形づくっている要素を絞り込み，生徒がその要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る時間・場面を十分に設けた指導過程を工夫する。

3 教育課程編成上の Q&A

Q1 歌唱共通教材や我が国の伝統的な歌唱の指導について留意することはどんなことか。

A1 歌唱共通教材には，我が国のよき音楽文化を世代を超えて受け継がれるようにするという観点があることを踏まえ，音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ることと，表現の技能を伸ばすことを一体的に高めていく指導が大切となる。また，伝統的な歌唱の指導においては，伝統的な声の特徴を感じ取れるものを教材に選択し，発声の仕方や声の音色，装飾的な節回しなどに着目した学習活動をとおして，生徒の興味・関心を高める工夫をすることが大切である。

Q2 言語活動の活用について留意することはどんなことか。

A2 感じ取ったことを表現する手段が言語活動であることを踏まえる。なお，「根拠をもって批評する」ことは，表現では対象とせず，鑑賞の活動をとおした指導事項にあることに留意する。